

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY
名古屋
ちくさ
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 鈴木 聖三
幹事 太田 和孝
公共イメージ向上委員会 榎尾 富二

No. 7

インスピレーションになろう
BE THE INSPIRATION

2018～2019年度

RI会長
バリー・ラシン

今日の例会

第1698回 平成30年 9月 4日(火)

休会

定款第8条第1節(C)取消

先回の例会

第1697回 平成30年 8月 28日(火)曇

村井 総一郎 ガバナー公式訪問

守山・千種 2RC 合同例会

ホテルナゴヤキャッスル「シャンボール」

◆会長幹事懇談会

10:40～11:30



ガバナー 村井 総一郎 地区幹事 佐々木 利政
守山 RC 会長 西脇 司 幹事 田中 友次
千種 RC 会長 鈴木 聖三 幹事 太田 和孝
(敬称略)

守山 RC 西脇 司 会長挨拶



村井総一郎ガバナー、佐々木利政地区幹事ようこそ、いらっしゃいました。

また、合同例会を設営いただきました名古屋千種 RC 鈴木会長始め、ご担当の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、私達、名古屋守山RCは、入会3年未満の会員が40%を越えました。創立55年の伝統と格式の継承は大切であります。一方では、時代に合ったクラブ運営が求められています。

まさに今、この時が、我々クラブにとって、新旧が融合した第2のチャーター期と言えます。

だからこそ、クラブの総合力で、インスピレーションを最大に高めて、ロータリーの理念・規範・友情の創造などを会員に積極的に啓発、研修を行わなければなりません。

それらを勘案して、今年度のクラブテーマを「今、第2のチャータースピリッツ、ロータリーに学び、楽しもう」としました。

そして、クラブテーマの展開する中で、村井ガバナーのご方針に合致する施策の取り組みについて、少し話させていただきます。

分区内交流は、緒に就いたばかりですが、東名古屋分区分区1Mのホストクラブとして、これから、各クラブへ訪問して、PRして参ります。

その際に、入会3年未満の会員を積極的に同行させ、分区内交流活動を大いに体験させて行きます。

ポリオ撲滅の貢献にも、年5回の全員募金例会の開催を始め、あらゆる場面で、協カイベントを行っています。

更に、マイロータリーへの登録の推進においては、メールアドレスを持つ会員の全員登録の達成に向けて、取り組み中で、現在18名登録できました。

今後も「工夫した例会」の開催や「会員増強」を通じたクラブ内の活性化など、果敢に挑戦する所存です。ガバナー始め、地区幹部の皆様のご引き続き、ご指導をお願い申し上げます、会長挨拶といたします。

◆君が代

◆奉仕の理想

◆来訪者紹介

RI 第2760地区ガバナー 村井 総一郎 様
RI 第2760地区幹事 佐々木 利政 様

◆出席報告

正会員 36(31)名 出席 23名
出席率 74.19 %
前々回 8/7 (修正出席率) 93.55 %

千種 RC 鈴木 聖三 会長挨拶



本日はガバナー公式訪問として、名古屋千種ロータリーと名古屋守山ロータリーの合同例会にご来臨賜り、誠にありがとうございます。

村井ガバナーの会社は昭和40年の設立ですが、そもそもの創業は室町時代に遡るといことです。日本の食文化を支えるのは、米、麦、豆などを蒸して発酵させた酒、醤油、味噌などですが、この源となるのが麴で、それを600年以上に亘ってお作りになっているというものです。これからビールも鯉節や味噌を原料としたり、アルコール度数が7%と高めのものが開発される時代ですが、ガバナーの会社は長い歴史を持ち、現代でいうバイオテクノロジーの会社として個性的な経営と新陳代謝がうまく融和され、発展されているものと解し、感服しています。

さて、名古屋千種ロータリーは、結成されてから36年目となりました。7月から新年度に入りましたが、今年度は「不易流行」の考えをかざして、名古屋千種ロータリーの歴史と伝統を重んじつつ、変化すべきところは積極的にチャレンジしていきたいと思っています。会員を増やすということは、現実的なことですが、極めて大事なことです。前年度、入会案内のパンフレットを作成しましたので、それを使って会員の増強を計りたいと思っています。そして、入会后5年以内の会員には名古屋千種ロータリーの研修資料をお渡し、知識と経験を積んで、社会に貢献できる、厚みのある会員になっていただけるようフォローしていきたいと考えています。過日、ロータリー情報研修委員会にて、大口委員長（元ガバナー補佐）から五大奉仕をベースに多くの示唆に富むお話がありました。少し触れさせていただき、この話は後日ということにさせていただきます。

それから、地域や社会への貢献の面では、東山こどもガイド2018に社会奉仕事業として参加していく。また、キャンヘルプタイランドをカンボジアまで拡げて支援していく、といったことを計画しています。これらの活動を支えるのが、テーマとして掲げた「信頼と総親和」です。メンバーが一体となって活動してまいります。これから卓話をしていただき、いろいろお気づきの点、ご指導いただきたいと思います。

それから、地域や社会への貢献の面では、東山こどもガイド2018に社会奉仕事業として参加していく。また、キャンヘルプタイランドをカンボジアまで拡げて支援していく、といったことを計画しています。

これらの活動を支えるのが、テーマとして掲げた「信頼と総親和」です。メンバーが一体となって活動してまいります。

これから卓話をしていただき、いろいろお気づきの点、ご指導いただきたいと思います。

講話 村井 総一郎 ガバナー



本年度ガバナー、豊橋 RC の村井総一郎です。

先程、鳴らして頂いたゴングは東京 RC（すなわち日本の最初の RC）が出来て100周年を迎えるということで、ガバナー訪問の際、各例会場へ持っていきます。台座には銘板があり2760地区の各 RC の名前が入っております。全国の

34地区でも、皆同じように例会の始まる際、日本のロータリー100周年を祝い会長に叩いて頂いております。

本日は RI テーマについてお話させていただきます。

2018-19 年度 RI 会長テーマ



BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう

バリ・ラシン会長はバハマの方です。テーママークにはカリブ海のブルーと太陽のオレンジが配色されています。

◇バリ・ラシン RI 会長のメッセージ
一番大切なのは、前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための『インスピレーション』となる必要があるのです。

◇バリ・ラシン RI 会長のテーマ講演より
変化をもたらすインパクトのある活動を通じて、ロータリーが地域社会の「インスピレーション」となることを願っています。

ロータリーでは、何がインスピレーションとなるか、つまり、何が刺激となり、前進の活力となるかは、人によって違います。

BE THE INSPIRATION

Inspiration は Inspire の名詞形

Inspire は鼓舞する・刺激する・激励する・発奮させる
⇒ 前進する活力となる

THE INSPIRATION は

インスピレーションする人（こと）

インスピレーションは学ぶものではなく感じるものであります。

Be the Rotarian who (動詞) the inspiration

(インスピレーション) を () する 人になろう。

受ける側ではなく、感じさせる送り手ということでもあります。インスピレーションをあげる人になろう。ということでもあります。

私は、地区の HP でインスピレーションを“風になる”と訳しました。背中を押してくれる前進する活力をとまなう前へ進む風と訳しました。

では、どこで感じてもらうか・・・

2018-19 年度 RI 第 2760 地区 地区活動方針として

『あなたの街でロータリーを！

あなたの街からロータリーを！』

～ロータリーの奉仕の理念を学び、
奉仕の実践をしよう～

日常の行動で、ロータリーを示しましょう。皆のインスピレーションになれば、ということです。

世界が求めるロータリーと日本が求めるロータリーとでは若干違いがあります。

また、他の奉仕団体との違いとして、ロータリーの目的に書いてあります“奉仕の理念”を奨励するという点であります。

奉仕の理念とは 『思いやりの心』『共生』

あなたの幸せが 私の幸せ

あなたの喜びが 私の喜び

それには倫理感がともなうことであります。そして
相手と共感、思いやり、手を差しのべ、活動する

奉仕の理念を学ぶのは例会場である

多くの会員と知り合いになろう。本来の親睦は知り合い
づくりである。

職業奉仕の第一歩は例会に出る事、と言っています。
例会の場で発想の交換をして倫理観を養うことが重要
であります。

入りて学び 出でて奉仕せよ、ということであります。

ロータリーの成り立ちは集いから始まっております。
ロータリーの目的の一番目にありますのが、仲間づくり
であります。知り合いを広めることによって奉仕の機会
とすること、これが親睦であります。

親睦をきちっとして例会を楽しんでいく。

親睦と親睦活動は違います。奉仕の理念を共有する仲間
をつくりましょう。

例会の運営を工夫しよう。他クラブの例会運営も体験し
ましょう。

他国の花を愛で、

自国の花の良さを知る、

これ観光。(中国・易経)

寛容の精神と友愛の精神がロータリーであります。

奉仕の理念を学ぶ機会として、他クラブの例会に出席し
ましょう。まず身近なところで奉仕とは何かを学び、身
近なところ(街)でロータリーの実践活動を行いましょ
う。それぞれの会員やクラブの交流が、刺激となり、鼓
舞し合い、前進する活力になりましょう。

◎個性あるクラブの集合体

地域密着・朝から元気・国際奉仕・伝統的正統派・
多忙な若者も参加・ITを活用・全員参加

◎個性ある会員の集合体

親睦命・リーダーシップ・研究熱心・出席100%・
陽だまり・人脈なら・奉仕命

◇工夫した例会について

笑いはあるが私語の無い楽しい例会をしましょう

入会式は心に残るセレモニーにしましょう。

会員のショートスピーチで和やかにしましょう。

たまにはロータリーソングの2番・3番の歌詞も歌っ
てみて下さい。

◇ポリオ撲滅について

ポリオ例会をしましょう

WFFに参加し、ポリオ撲滅に協力下さい

◇会員増強について

女性会員や若い会員を増やしましょう

魅力あるロータリー活動をしましょう

- ・ガバナー月信を読みましょう
 - ・地区のHPにクラブの奉仕活動を1つ以上載せましょう
 - ・My Rotaryの登録率を上げましょう
 - ・ロータリー賞に挑戦しましょう
 - ・国際大会(ハブ10)に行きましょう
- 6月1日にガバナーナイトを行います。6月2日が本
会議です。お時間と日程に余裕のある方はぜひ来て頂

きたいと思います。

・WFF・地区大会に参加しましょう

貴方の行う活動、姿勢が相手にとってのひらめき、前進
の活力、インスピレーションになることをお願い致した
いと思います。

BE THE INSPIRATION

今日から、今から インスピレーションになりましょ

◆ロータリー情報研修委員会 報告

8月21日(火) 18:30 割烹 都筑

参加者 会長 鈴木聖三 委員長 大口弘和
副委員長 和田正敏 委員 笹野義春
福井浩道 河合隆史 清水ひろみ 朝倉寿宜
幹事 太田和孝 記 (敬称略)

平成30年8月21日にロータリー情報・研修委員会を
開催いたしました。入会5年以内のメンバー4人が参加
し、ロータリー情報研修委員会大口委員長が自ら作成さ
れました研修会資料を基に、大口委員長が講師となり、
ロータリーの成り立ちから、用語、奉仕の何たるかまで、
非常に多岐にわたる内容で研修が行われました。
参加された皆さんからも口々に、非常に実りのある時間
であったとの感想が聞かれました。

研修後は、引き続き委員会メンバーと共に懇親会が開催
され、参加された皆さんそれぞれがロータリーについて
熱い思いを語り合い、夜は更けていきました。



ニコボックス

村井ガバナー・佐々木地区幹事

守山RC 西脇司会長 田中友次幹事

小林 英毅

本日は囲碁会です。浄心囲碁サロンでお待ちします。

鈴木 聖三

村井ガバナー本日は誠にありがとうございます。

これからもよろしくお願ひします。

大口 弘和

会員誕生日お祝ひ

足立 一郎

朝倉 寿宜

藤田千津子

萩原喜代子

長谷川 亨

林 永芳

堀江 宏輝

伊藤 健文

加藤 重雄

河合 隆史

太田 和孝

笹野 義春

志水ひろみ

舎人 経昭

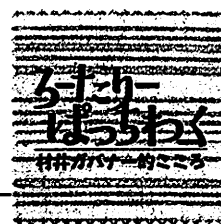
和田 正敏

余語 秀章

吉田 玄

本日ガバナー公式訪問合同例会です。村井ガバナー、
佐々木地区幹事、守山RC様宜しくお願ひ致します。

23件 合計 132,000円



【ガバナー便り】

2018. 9. 1



国際ロータリー 第2760地区
ロータリークラブ会員の皆様へ

盆明けに少し気温が下がったようでしたが、相変わらず暑い日が続いています。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

8月はガバナー公式訪問が始まりました。訪問先のクラブではそれぞれの例会スタイルで歓迎をいただき有難く思っております。

今年度は『ロータリー100周年の鐘』なる、点鐘ゴングを持参して各クラブ会長さんに開会閉会時に点鐘をして頂いております。なかなか響きの良い鐘ですが専用の運搬ケースに入れますと、8~9キログラムとなり結構重い荷物となります。キャリーケースにつけて運搬していますが、駅や会場の階段の運搬は大変でして、地区幹事さんにはご苦労掛けながら、毎日運んでもらっております。

公式訪問は1つまたは2クラブ合同で行っていますので、夜間例会も含め51会場となります。2クラブの場合でも会長さん幹事さんの事前懇談会も別々ですので、各クラブに親しく触れあえているように感じています。

会長さんとお話していただくと、ほとんどの方が、会員増強を真剣に考えておられます。地域の人口減少傾向もあり、なかなか増強はできにくい状況ですが、前向きな増強活動を考えておられます。『ぱっちわ〜』にも書きましたが、会員増強が会員増クラブ弱とならないように、クラブの将来像を見極めた戦略計画と入会後の研修の大切さをお話しております。

分区内交流に関してもご理解いただけており、新会員の他クラブ訪問も積極的に取り組むお話もいただきました。また同じ分區であっても、距離が離れ交通の便も住なクラブ同士の合同例会では、バスを仕立てたり車に乗りあわせなど、色々な工夫をしての参加をいただき、こちらも有難く感謝しております。

さらに、これを機に年度内に今度は逆に公式訪問時のホストクラブがビジタークラブに出向き、合同例会をする企画も聞かせていただきました。分区内交流の意図をご理解いただけて嬉しく思っております。

8月は会員増強月間でしたが、9月はロータリーの友月間です。

ロータリーの友委員会委員長・一般社団法人ロータリーの友事務所代表理事の片山主水PGよりロータリーの友月間に寄せて、ガバナーズウェブサイトに特別寄稿を頂いております。

2018-19ガバナー 村井 総一郎

会員増強について考える

7月は会員増強月間であった。各クラブ共に会員数の増加には意識を高く持たれている。とはいってもこの会員増加は当初の目標を達するにはかなりの努力がいる。会員の増加よりも減少を食い止めて維持をしてゆくのは、なかなか困難であるというクラブの声をも聞く。

実際に日本の会員数は減少しており、9万人台となり3ゾーンであったのが、2.5ゾーンになることとなった。元の3ゾーンに戻すには各ゾーン3.5万人として10.5万人であるから、あと1.5万人の増加は必要となる。

しかし、これは日本の問題であって、RIの会員増強月間との関係は薄い。

クラブでなぜ会員増強が必要なのか考えてみる。

まず、ロータリーは良いことをしている、これからも良いことをして行こう、だから多くの人に参加してもらおう。みんな誘い合って良いことを広げていこうという考えが根底にある。つまり全体で行う社会奉仕、国際奉仕に主体をもって、日本のロータリアンの多くが唱える個人の奉仕(アイサーブ)とは少し異なる方向である。次に数の必要性を考えてみる。良い事をするには多くの人とつながって行かねばならない。さらに事業費用の必要性から、多くの人から寄付を集めなくてはいけない。そのために会員を増やそうということではないかと感じている。

これをRI戦略計画では、会員基盤の強化、会員基盤の多様性と言っている。本来はロータリーの成長のために、ローダーの養成や革新的な計画の樹立が表にでなくてはならないのに、会員増強が当面の課題となっている。

会員増強については、日本のロータリーの中で、ロータリーに入れてくれと言っても入れる会ではない、入ったからには個人が例会の場で学び、各職場で、個人として奉仕すればよいのであって、数の多さは不要であると考えの方々と相入れないように思う。

そこで、2760地区においては、先輩会員が新会員に同行して他クラブの例会に訪問し新会員の費用を負担するのはどうかと考えた。

これにはいくらガバナー方針とは言え、スタッフも驚いたことと思う。しかし気持ちよく理解してくれて、事業予算も捻出できた。あとはどのくらい、実施してくれるかである。

他クラブに行くというのは結構緊張するものである。また市内の各クラブは親子関係にもあり、普段からの交流も深い。では少し遠いクラブはどうであろうか。同じ分區でありながら名前を知っているが、どんな例会をしているかわからない、それを見に行くのも良いのではと考えた。ガバナー公式訪問の組み合わせがそうである。実際のところビジター側は往復の時間がかかるし、受け入れ側は例会場のキャパシティなど問題があり、様々なご意見ご指摘も当然であるが、上記の理由から友愛の精神でご理解を願いたい。

今年度のRI会長テーマは『インスピレーションになろう』であるから、他クラブに出てインスピレーションを大いに感じてほしいものである。

また、他クラブの運営の多様性や柔軟性も見たい、何かインスピレーションを感じるものがあると期待している。

重要なのは、良さを見ることであり、あれはダメ、これはダメ、何の役にも立たないと考えないことである。ロータリアンの寛容の精神で見たい。特に会員歴の長い会員には、新会員に適切なアドバイスをお願いしたいものである。